

# 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 石垣食品株式会社  
 コード番号 2901 URL <http://www.ishigakifoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 石垣 裕義  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	655	4.7	41		46		46	
2022年3月期第1四半期	687	6.0	26		29		30	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 54百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 41百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.29	
2022年3月期第1四半期	2.68	

(注) 2023年3月期第1四半期及び2022年3月期第1四半期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	1,058	198	18.8	13.91
2022年3月期	1,012	252	25.0	17.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 198百万円 2022年3月期 252百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

今後の業績の見通しにつきましては「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	14,295,700 株	2022年3月期	14,295,700 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,779 株	2022年3月期	1,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	14,293,921 株	2022年3月期1Q	11,435,521 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、収益面では売上高655,614千円（前年同四半期比4.7%減）と減収、損益面では営業損失41,668千円（前年同四半期は営業損失26,732千円）、経常損失46,492千円（前年同四半期は経常損失29,722千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失46,961千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失30,661千円）と、損失が拡大いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲料事業

飲料事業においては、自社製造を終了し外部委託製造商品に切替え、麦茶を中心に大幅なリニューアルを行いました。採算改善を狙った値上げが忌避され、麦茶、ごぼう茶、烏龍茶、杜仲茶の全商品が大幅な減収となり、売上高28,178千円（前年同四半期比20.7%減）と大幅な減収となりました。

損益面では、外部委託製造への切替えによる自社工場負担の低減やリニューアルに伴う値上げにより採算改善を狙ったものの業績全般への寄与には至っていないこと、旧規格商品の処分販売等を行ったこと等から、営業損失687千円（前年同四半期は営業利益63千円）と赤字に転落いたしました。

#### ② 珍味事業

珍味事業においては、中国国内市場向け販売分は前年同四半期比で純増となったものの、国内向けのビーフジャーキーについてOEM、自社ブランド商品とも大幅な減収となったことから、売上高41,671千円（前年同四半期比10.2%増）の増収に留まりました。

損益面では、主要原料である牛肉や燃料費の高騰、輸入商品であることから円安もマイナスに作用し、営業損失9,576千円（前年同四半期は営業損失6,236千円）と赤字が拡大いたしました。

#### ③ インターネット通信販売事業

インターネット通信販売事業においては、売上規模よりも利益率の高い効率的な販売を行う体制を継続していることから、売上高546,613千円（前年同四半期比9.0%減）の減収となりました。

損益面では、前述の体制に加え、外部委託業務の内製化比率を高めるといった活動もあり、利益率が改善したことから、営業利益4,818千円（前年同四半期比32.8%増）の増益となりました。

#### ④ 自社ブランド化粧品事業

自社ブランド化粧品事業においては、事業を開始したばかりであることから大きな売上計上をすることができない一方で、先行負担が重く、売上高4,185千円、営業損失12,560千円となりました。

#### ⑤ その他

だしのもとの上売が0となり、前年同四半期に売上計上された健康食品についても初回出荷以降売上が計上されませんでした。OEM化粧品で多額の売上が計上されたことから、売上高34,965千円（前年同四半期比154.6%増）と増収、営業利益は685千円（前年同四半期は営業損失113千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、化粧品事業の先行負担により商品及び製品、前渡金が増加しましたが資産合計額に大きな変動はなく、総資産は1,058,140千円（前連結会計年度末は1,012,897千円）、長期借入金の増加等により負債は859,279千円（前連結会計年度末は759,949千円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、純資産は198,860千円（前連結会計年度末は252,948千円）となり、自己資本比率は18.8%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の業績の見通しにつきましては、「未定」とさせていただきます。

その理由は、主に新型コロナウイルス感染症の影響や、米中貿易摩擦やウクライナ事変を受けた資材価格の高騰や為替相場の変動、さらにこれらがサプライチェーンに与える影響が不透明であること等により、既存事業の先行きを見通すことが困難であること。当社グループとして新規事業の展開やM&A等を積極的に行っていく方針であるものの、それらが前述の状況を踏まえた上で業績に与える影響を見通すことも困難と考えます。これらの理由により、現時点では今後の業績の見通しを適正かつ合理的に算定することが困難なことから、今後の業績の見通しにつきましては「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	522,682	412,060
受取手形及び売掛金	175,628	163,625
商品及び製品	154,644	234,488
原材料及び貯蔵品	11,339	19,887
前渡金	107,401	174,191
その他	12,624	24,623
貸倒引当金	△55	△59
流動資産合計	984,265	1,028,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	0	0
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
土地	0	0
その他（純額）	460	610
有形固定資産合計	461	611
無形固定資産		
その他	3,611	3,360
無形固定資産合計	3,611	3,360
投資その他の資産		
投資有価証券	8,004	8,120
その他	16,554	17,230
投資その他の資産合計	24,558	25,350
固定資産合計	28,631	29,322
資産合計	1,012,897	1,058,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,691	138,025
未払金	11,628	15,060
短期借入金	19,100	19,100
1年内返済予定の長期借入金	192,035	181,377
リース債務	1,590	1,604
未払法人税等	6,914	2,998
賞与引当金	2,670	661
その他	23,063	28,005
流動負債合計	449,694	386,833
固定負債		
長期借入金	307,903	470,501
リース債務	2,351	1,944
固定負債合計	310,254	472,446
負債合計	759,949	859,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	989,102	989,102
資本剰余金	742,395	742,395
利益剰余金	△1,483,648	△1,530,610
自己株式	△782	△782
株主資本合計	247,066	200,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	116
為替換算調整勘定	5,881	△1,360
その他の包括利益累計額合計	5,881	△1,244
純資産合計	252,948	198,860
負債純資産合計	1,012,897	1,058,140

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	687,994	655,614
売上原価	460,797	445,386
売上総利益	227,197	210,227
販売費及び一般管理費	253,930	251,896
営業損失(△)	△26,732	△41,668
営業外収益		
受取利息	0	6
受取配当金	1,523	-
為替差益	-	31
雑収入	21	526
営業外収益合計	1,546	564
営業外費用		
支払利息	1,910	2,181
為替差損	3	-
雑損失	2,622	3,206
営業外費用合計	4,536	5,388
経常損失(△)	△29,722	△46,492
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,722	△46,492
法人税、住民税及び事業税	939	468
法人税等合計	939	468
四半期純損失(△)	△30,661	△46,961
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,661	△46,961

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△30,661	△46,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,405	116
為替換算調整勘定	△5,156	△7,242
その他の包括利益合計	△10,561	△7,126
四半期包括利益	△41,223	△54,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,223	△54,087
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで9期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していること、及び当第1四半期においても状況が改善されていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

飲料事業及び珍味事業においては、ブランド露出拡大、新商品の投入や既存商品の刷新、新規取扱先の開拓を継続して行うほか、他社との協業によるダイバーシティーの促進等による営業活動の改善等により事業採算の改善を図ってまいります。

珍味事業においては、中国国内市場向けのビーフジャーキーが2021年4月から販売開始したことや、第三者割当増資の引受先や中国国籍を持つ取締役のコネクションを活かした事業活動を行っております。

加えて2022年2月に実施した第三者割当増資で調達した資金を活かして、化粧品やサプリメントといった新規事業を開始しており、今後も更なる事業展開やM&A等に取り組んでまいります。

しかし、これらの施策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

#### (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

##### I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

###### 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

###### 2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

##### II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

###### 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

###### 2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで9期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していること、及び当第1四半期においても状況が改善されていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

飲料事業及び珍味事業においては、ブランド露出拡大、新商品の投入や既存商品の刷新、新規取扱先の開拓を継続して行うほか、他社との協業によるダイバーシティーの促進等による営業活動の改善等により事業採算の改善を図ってまいります。

珍味事業においては、中国国内市場向けのビーフジャーキーが2021年4月から販売開始したことや、第三者割当増資の引受先や中国国籍を持つ取締役のコネクションを活かした事業活動を行っております。

加えて2022年2月に実施した第三者割当増資で調達した資金を活かして、化粧品やサプリメントといった新規事業を開始しており、今後も更なる事業展開やM&A等に取り組んでまいります。